

イーストスプリング 米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2020年1月11日～2020年7月10日

第204期 2020年2月10日決算 第207期 2020年5月11日決算

第205期 2020年3月10日決算 第208期 2020年6月10日決算

第206期 2020年4月10日決算 第209期 2020年7月10日決算

日経新聞掲載名：米高利回

第209期末	基準価額	5,975円
	純資産総額	18,567百万円
第204期～ 第209期	騰落率	－5.0%
	分配金合計	120円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

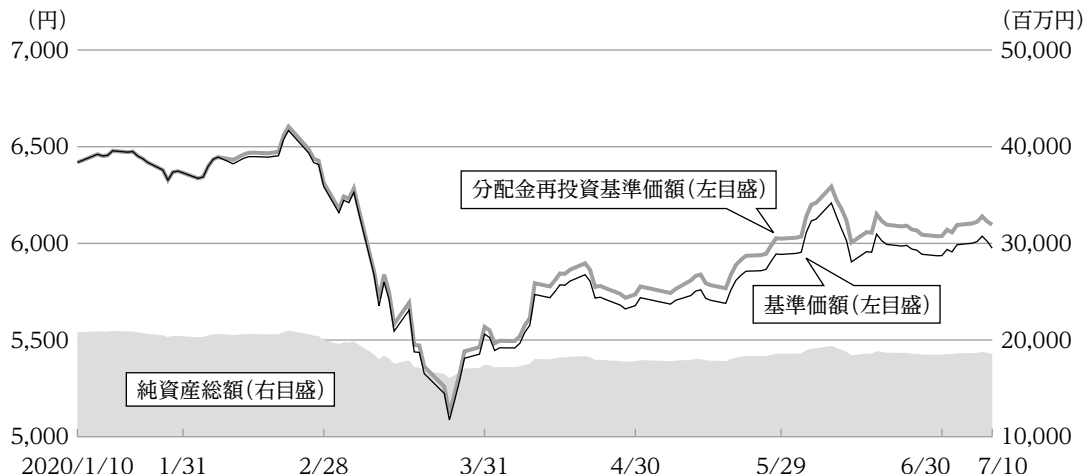
＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2020年1月11日～2020年7月10日)



第204期首	6,419円
第209期末	5,975円（既払分配金120円）
騰 落 率	－5.0%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・米国高利回り社債の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・為替市場で円高ドル安となったこと。

1 万口当たりの費用明細

(2020年1月11日～2020年7月10日)

項目	第204期～第209期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.903%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、5,958円です。
(投信会社)	(28)	(0.465)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.383)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.023	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	55	0.926	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

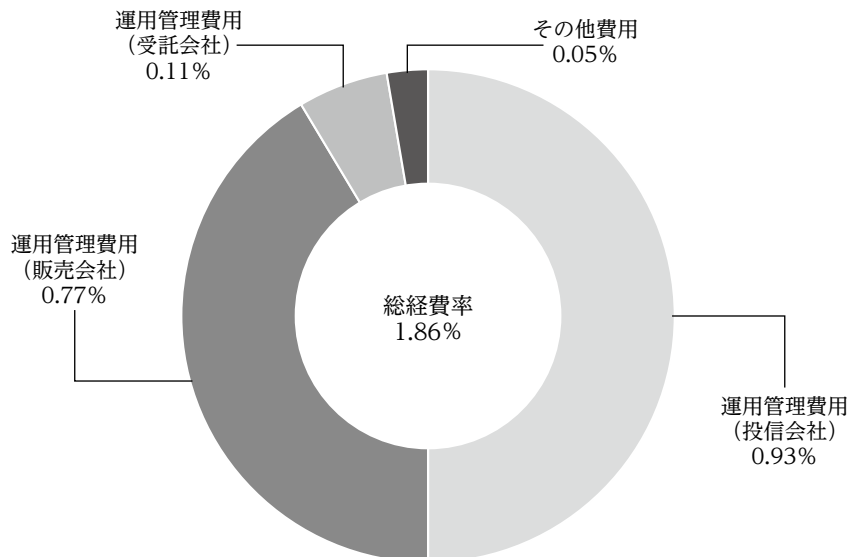
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



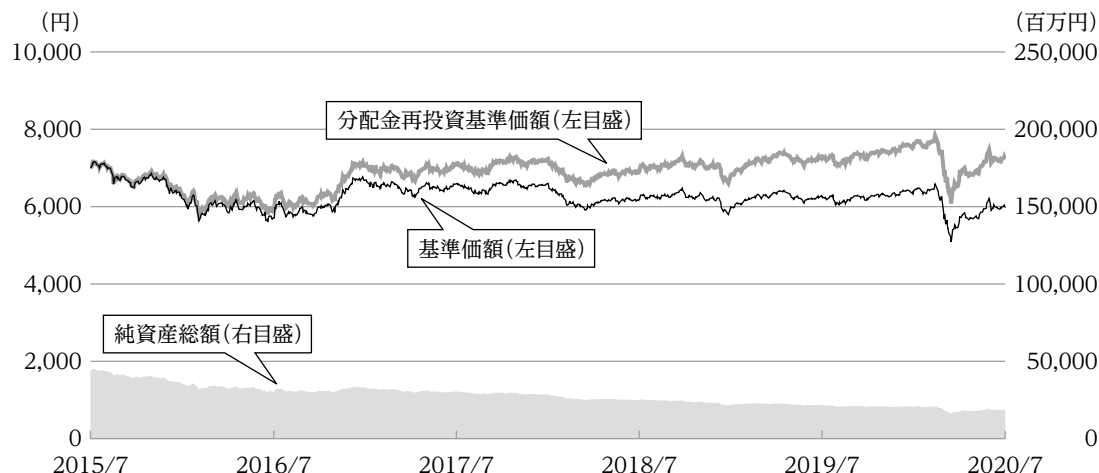
(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2015年7月10日～2020年7月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年7月10日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2015/7/10	2016/7/11	2017/7/10	2018/7/10	2019/7/10	2020/7/10
基準価額 (円)	6,994	5,702	6,596	6,189	6,267	5,975
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	-15.3	20.1	-2.5	5.2	-0.8
純資産総額 (百万円)	44,059	30,361	30,491	24,943	21,746	18,567

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

米国高利回り社債市場

当作成期初は、世界的な景況感の改善期待を背景に米国高利回り社債の対国債スプレッド（以下、社債スプレッド）は縮小しました。しかし、2020年1月下旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大への警戒や原油価格の下落を受けてエネルギーセクターを中心に社債スプレッドは拡大傾向となりました。2月上旬から中旬は、米国株高などを背景に社債スプレッドは一旦縮小しましたが、その後、3月下旬にかけて中国以外の国・地域においても新型コロナウイルスの感染が拡大し、都市封鎖や移動制限による経済活動停滞への懸念から株式市場が急落するなど大混乱となったことから、社債スプレッドは急激に拡大しました。

金融市場の安定化に向けて、米連邦準備制度理事会（FRB）は3月に2回にわたり緊急利下げを行ったほか、社債購入プログラムの開始に踏み切りました。4月上旬には同プログラムは拡充され、一部の高利回り社債が購入対象に含まれることになると投資家心理は改善し、高利回り社債市場には記録的な資金流入がみられました。当作成期末にかけて社債スプレッドは縮小し、利回りも低下（価格は上昇）しました。

為替市場

当作成期初から2020年2月上旬にかけて、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大への懸念からドル円は上値の重い展開となりましたが、米国の良好な経済指標や株高などを背景に同月中旬には円安ドル高が進みました。しかし、中国以外の国・地域での新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落などから、世界経済の先行き不透明感が意識されたこと、さらに米国の緊急利下げの実施などを受けて、3月上旬には円高ドル安が加速しました。

その後、ドルの流動性低下への懸念からドルが急反発するなど値動きの荒い展開となりましたが、3月下旬にかけて政府による経済対策や、FRBの流動性供給などが支援材料となり市場では安心感が広がりました。5月初旬から6月にかけて、主要国が経済再開へと動き始め、景気回復への期待から米国など先進国の株式市場が堅調となったことなどを受けてリスク選好の流れとなり、ドルは堅調に推移しました。しかし、6月中旬以降は感染再拡大への懸念などから次第にドルの上値が重くなり、当作成期末にかけて狭い値幅での推移となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券

の値上り益の獲得を目指した運用を行いました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視するとともに、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。

セクター別では自動車、通信、消費財などはプラスとなりましたが、エネルギー、レジャー、サービスなどはマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第204期	第205期	第206期	第207期	第208期	第209期
	2020年1月11日 ～2020年2月10日	2020年2月11日 ～2020年3月10日	2020年3月11日 ～2020年4月10日	2020年4月11日 ～2020年5月11日	2020年5月12日 ～2020年6月10日	2020年6月11日 ～2020年7月10日
当期分配金 (円)	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率) (%)	0.311	0.351	0.347	0.348	0.328	0.334
当期の収益 (円)	20	17	20	18	20	19
当期の収益以外 (円)	－	2	－	1	－	0
翌期繰越分配対象額 (円)	467	465	471	469	476	475

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

米国高利回り社債の運用にあたっては、厳格なリスク管理とともに銘柄選択が重要だと考えています。新型コロナウイルスの感染拡大は、人々の健康と経済活動において過去に例を見ない危機を招いています。段階的な経済活動の再開により主要な経済指標の改善が続いているものの、2020年は企業収益が低下し借入れが増加するとみています。

一方で、市場の流動性は十分であり、2021年に向けて債券発行体の財務状況は徐々に改善すると予想しています。また、FRBの政策対応による社債購入プログラムは高利回り社債にとって安心材料となっています。現在の社債スプレッドの水準に加え、業績悪化見通しを受けて投資適格から格下げとなる社債銘柄が多く出る可能性があることは、当マザーファンドにとって多くの投資機会を得られると考えています。今後も、運用担当者はポートフォリオの格付けを相対的に高めに維持し、市場の流動性などに留意するとともに、保守的な運用を行う方針です。引き続き市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行ってまいります。

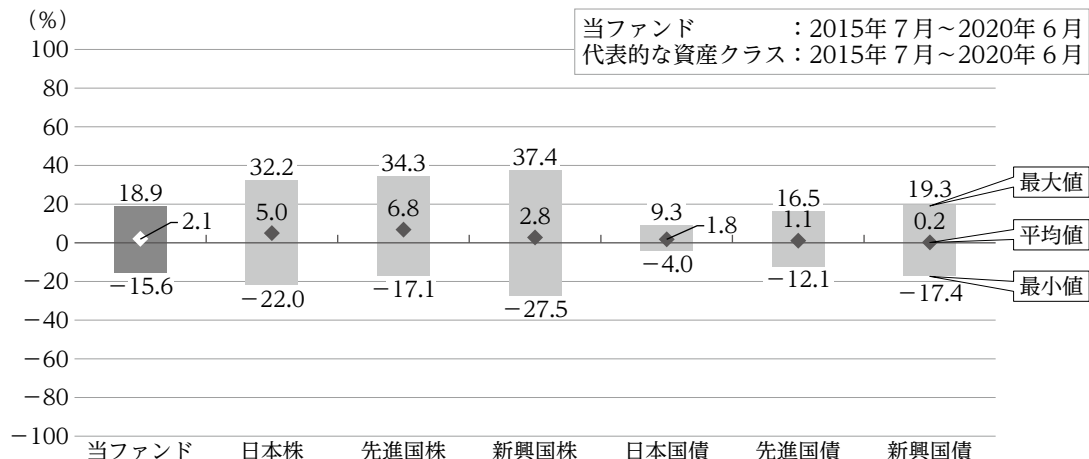
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年1月30日設定）	
運用方針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザー ファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の 10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以 内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	JPMorganGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

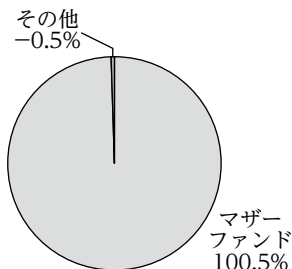
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

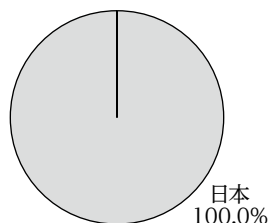
ファンド名	第209期末 2020年7月10日
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	100.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

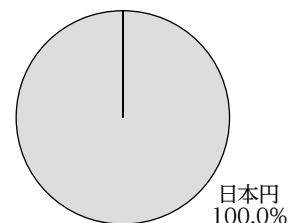
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第204期末 2020年2月10日	第205期末 2020年3月10日	第206期末 2020年4月10日	第207期末 2020年5月11日	第208期末 2020年6月10日	第209期末 2020年7月10日
純資産総額 (円)	20,514,662,834	18,002,855,771	18,055,590,403	17,953,314,230	18,986,377,539	18,567,050,887
受益権総口数 (口)	31,992,460,828	31,710,605,471	31,474,950,958	31,334,392,228	31,250,470,020	31,076,766,059
1万口当たり基準価額(円)	6,412	5,677	5,736	5,730	6,076	5,975

* 当作成期中（第204期～第209期）において追加設定元本額は83,926,453円、一部解約元本額は1,377,950,578円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド>

基準価額の推移(2019年1月30日～2020年1月29日)

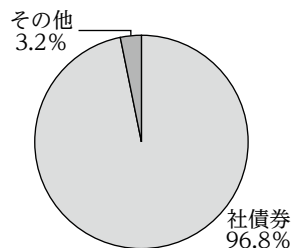


組入上位10銘柄(組入銘柄数：352銘柄)

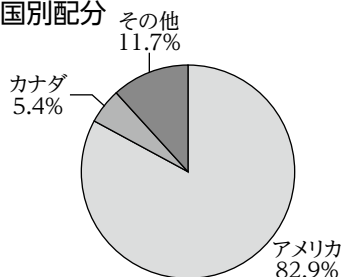
(2020年1月29日現在)

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
FREEPORT-MCMORAN	素材	4.550%	2024/11/14	アメリカ	1.7%
NAVIENT CORP	金融	7.250%	2023/9/25	アメリカ	1.5%
CCO HOLDINGS LLC	メディア	5.375%	2029/6/1	アメリカ	1.3%
SPRINT CORP	通信	7.125%	2024/6/15	アメリカ	1.2%
HCA INC	ヘルスケア	5.625%	2028/9/1	アメリカ	1.2%
TENET HEALTHCARE	ヘルスケア	5.125%	2025/5/1	アメリカ	1.1%
CENTURYLINK INC	通信	7.500%	2024/4/1	アメリカ	1.0%
HCA INC	ヘルスケア	4.125%	2029/6/15	アメリカ	1.0%
CSC HOLDINGS LLC	メディア	5.750%	2030/1/15	アメリカ	0.9%
ICAHN ENTERPRISES	金融	6.250%	2026/5/15	アメリカ	0.9%

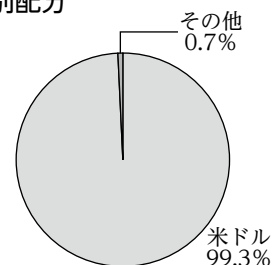
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2019年1月30日～2020年1月29日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.022%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、24,629円です。
(保管費用)	(5)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	5	0.022	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。